

一級河川吉井川水系下流ブロック 3/27 河川整備検討委員会 指摘事項等一覧表

項目	内容	事務局回答	備考 (今後の対応等)
概要説明資料 (質問)	流域治水について、地域住民の認知度がまだまだ低いと思うが、地域住民へ流域治水の取り組みを伝えることは考えているのか。	一級水系の流域治水プロジェクトは国と一緒にになって取り組んでいるものであり、地域住民へ知ってもらうための取り組みについて、国とともに考えていきたい。	
概要説明資料 (質問)	ワンコイン浸水センサについて、主体はどこで、いつから取り組んでいるのか。 また、県内では備前市のみ取り組んでいるのか。	ワンコイン浸水センサは国土交通省が令和4年度から実証実験に取り組んでおり、県内では備前市の他に岡山市、総社市が実証実験に参加している。	
概要説明資料 (質問)	備前市では具体的にどこに設置しているのか。	香登川周辺や日生地区に8箇所設置している。	
概要説明資料 (質問)	吉井川水系下流ブロックは過年度の委員会で初瀬川や小野田川も整備対象河川として検討していたと思うが、今回整備対象河川になっていないのはなぜか。	初瀬川と小野田川は事業が完了したため、今回整備対象河川になっていない。	
概要説明資料 (質問)	河道掘削について、香登川では重要種に配慮するという説明があったが、他の河川でも重要種に限らず水生動物に配慮するということによいか。	工事段階において、重要種等が確認されていれば、それらに配慮した工事を検討していきたい。	

一級河川吉井川水系下流ブロック 3/27 河川整備検討委員会 指摘事項等一覧表

項目	内容	事務局回答	備考 (今後の対応等)
参考資料 (意見)	先日小田川で外来種のナガエツルノゲイトウが確認された。繁殖力が強いとため、他水系にも侵入する可能性があり、河川整備において持ち込みがないようにお願いしたい。		
参考資料 (質問)	河川整備完了後において、外来種を含む河川環境をモニタリングする体制をとっているのか。	モニタリングは行っていないが、河川管理者として河川環境への配慮についても重要視していきたい。	
概要説明資料 (質問)	千町川の下流部において、河床高が上流よりも高くなっている理由は。	はっきりとしたことは分からないが、上流側が土羽護岸であり広範囲で浸食されているため、その土が下流に溜まったと考えている。	
概要説明資料 (意見)	河川の地形等で下流部に土が溜まるのであれば、掘削しても意味がないので、そのあたりも視野に入れて検討したほうがいい。		

一級河川吉井川水系下流ブロック 3/27 河川整備検討委員会 指摘事項等一覧表

項目	内容	事務局回答	備考 (今後の対応等)
概要説明資料 (意見)	千町川下流の河床高が高いのは上流側と比べ観測点が多いというのも要因の一つではないか。土が溜まる要因もしっかりと考えて対策を行う必要がある。		
参考資料 (意見)	河川環境のモニタリングは難しいという話があったが、例えば近くの学校等に依頼しモニタリングを行うなど、ちょっとした助成金で対策を行うこともいいのではないかと思う。		
概要説明資料 (意見)	流域治水の取り組みをどこから行うのか、優先順位をつける際に、この対策はどのような効果があるのか等を検討していると思うが、その資料の公開も検討したほうがいいのではないか。	流域治水を知ってもらうためにも、対策を検討したい。	

一級河川吉井川水系下流ブロック 3/27 河川整備検討委員会 指摘事項等一覧表

項目	内容	事務局回答	備考 (今後の対応等)
概要説明資料 (質問)	千町川流域は広大な田んぼがあり、田んぼダムを推進することで治水上かなりの効果があると考えているがどうか。	田んぼダムについて、流域の瀬戸内市において検討を行っていると聞いている。	
概要説明資料 (意見)	低平地という特徴もあり、築堤を行うことで内水被害が起こるため、内水対策のためにも是非田んぼダムを推進してもらいたい。		
概要説明資料 (意見)	地域住民としっかりとコミュニケーションをとることで田んぼダムの推進にもつながるのではないかと思う。		
本文 (質問)	流域の人口はどこに記載しているのか。 人口推移の予測とかはしていないのか。	人口は本文 P2 の 2 段落目に記載している。 予測まではしていないが、人口の推移を見ながら減少傾向であることを確認している。	

一級河川吉井川水系下流ブロック 3/27 河川整備検討委員会 指摘事項等一覧表

項目	内容	事務局回答	備考 (今後の対応等)
概要説明資料 (質問)	前から言っているが、概要説明資料は公開しないのか。	概要説明資料は公開を検討している。	
本文 (質問)	最近 PFAS が話題になっているが、どのような状態なのか。	PFAS については、現時点で環境基準にはなっておらず、要監視項目として引き続き注視していく項目となっており、河川法に基づき対応が出来る状態ではない。	
本文 (質問)	吉井川水系でも PFAS の調査を行っているのか。	吉井川水系について、現時点で暫定指定値を超えるような調査結果は出ていないという認識である。	
本文 (質問)	河川ゴミについて、対策を行っているのか。	河川ゴミについては、不法投棄が見られる箇所に注意看板を設置するなど、河川愛護の意識啓発に努めるとともに、流木やゴミの回収を行っている。また、岡山県海ゴミ対策推進協議会を設置しており、用水や海などの他の水域管理者と連携して対策を行っている。	
本文 (意見)	プラスチックゴミはマイクロプラスチックになるという観点をもって対策を行ってほしい。		
本文 (質問)	市が管理している河川の対策は大丈夫なのか。	県管理河川以外の河川については、今後管理者と協議を行い対策を行いたい。	

一級河川吉井川水系下流ブロック 3/27 河川整備検討委員会 指摘事項等一覧表

項目	内容	事務局回答	備考 (今後の対応等)
本文 (質問)	本文には流下能力図は載せないのか。	公開を検討している概要説明資料に流下能力図を記載している。	
本文 (意見)	草刈業務を発注する際にゴミも拾うような発注の仕方を考えてほしい。		
本文 (質問)	本文 P23(3)について、特定外来生物が植物だけでなく動物もいることが分かるようにしてほしい。	修正を行う。	
本文 (質問)	本文 P16 の河川工事の目的の中に動植物の生息空間などの創出と記載しているが、いいのか。	河川の特性に応じ、多自然型のブロックや魚道の整備などを行っており、今後も動植物の生育空間にも配慮した河川工事を行っていきたい。	
本文 (質問)	岡山アダプト推進事業とはこういった事業なのか。	岡山アダプトは地元町内会等で結成された団体が、道路や河川、公園の清掃等を行う活動であり、必要な経費について支援を行っている。自走式草刈り機を貸し出す取り組みを併せて行っている。	
本文 (意見)	その事業をうまく活用出来れば、河川の生き物を調べたり外来生物の監視などにもつながると思う。		

一級河川吉井川水系下流ブロック 3/27 河川整備検討委員会 指摘事項等一覧表

項目	内容	事務局回答	備考 (今後の対応等)
本文 (質問)	本文 P24(1) で自然環境に配慮した川づくりに関する調査とあるが、具体的にどのような調査を行っているのか。	魚類の生息調査を同じポイントで 5 年毎に行っており、調査結果を参考に河川整備を行っている。	